

はな 華ちゃんのすてきな作文



横浜市立東市ケ尾小学校の竹内京子先生から届いた手紙には、平久保華ちゃん(2年生)が日光市について書いた作文が同封してありました。華ちゃんがその作文をクラスで発表すると、子どもたちが「日光市ってすてきなまちだね」と感激し、興味を持ったそうです。小さな観光大使、華ちゃんの作文を紹介します。

〈わしくは 秘書広報課 広報広聴係 ☎21-5135

SLのつたよ

平久保華

わたしのおじいちゃん、おばあちゃんのおうちは、栃木県日光市今市です。わたしが住んでいる市ケ尾より少しいなかです。

今年の夏、わたしがいかに帰ったときいつものりおりしている下今市駅で、SLがふっかつきました。SLを走らせている東武鉄道が「栃木県には、かん光地がいっぱいあったのしいから、もっとたくさんの人にあそびに来てほしいな。」と思って、SLふっかつうんでんプロジェクトをはじめたそうです。SLの名前は、力づく、大きくぞだつてほしいという思いをこめて「大樹」にきました。

うかとわくわくしました。

駅には、SLを見るためにたくさんの方があつまっていました。SLはじょうきやくをおろしたあと、むきをかえるためにてん車台に入ります。大きな汽てきをポッポーとならし、黒いけむりをもくもくさせながら走るSLは、とてもかっこよかったです。横浜では見られない風けいです。

てん車台では、ゆつくりと回つてあつまっている人のためにと中で止まつて、しゃしんをとらせてくれました。でも、手がとどきそうなきより何でも「ポッポー」とならずので、耳をふさがないといられませんでした。

その日はSLじょうきやくげんでいで、手ぬぐいにSL大樹のスタンプと手形をおすイベントをしています。家ぞく四人の手形をきれいにしておせて、いい思い出になりました。ホームでは、SL大樹としゃしんとれたし、SLがえがかれてるカードやせんすなどプレゼントもあり、たのしかったです。



SLは三号車まであり、わたしは二号車のまん中の席でした。出ばつすると、かん光アテナダントとよばれるおねえさんが、一席ずつまわつて切符をかくにしながらかん光あん内をしてくれました。わたしはそこでおすすめされたSLの石炭をイメージした「黒いアイスいちご」を買つて食べることにしました。ひと口目はドキドキしてへんなあじがしたけど、二、三口食べたなら本当にいちごのあじがしておいしかったです。お父さんと半分こして食べおわると、お母さんがニヤニヤしてわたしを見ていたので「なんだらう。」と思いました。するとお母さんは「あつはつは、どろ

ぼつみたい。」とわらい出しました。かがみで見ても、口のまわりがまつ黒、そして口の中もまつ黒、まるでまっくろくろすけが口の中に入つてしまつたみたいでした。家ぞくみんなで顔を合わせて大わらいしてしまいました。

雨だつたので、まどから見えるけしきは、黒っぽかつたけれど、色々な人が手をふつてくれて「人気なんだなあ、のれてよかつたなあ。」と思いました。

日光の秋は、こうようがきれいだし、冬はきぬ川のおんせんであたまれるし、さい高です。わたしの大好きな町です。ぜひみなさんも、お父さんのふるさと日光にあそびに来てください。